
開講科目名：所得税法研究 (2単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：金森 文質

《授業の概要》

1. 授業の概要

「講義の目的」

受講生に、所得税法の学習を通して、知識としての税法条文理解から一歩進め、その条文がなぜ必要とされるのか等について、考える力を伸ばしてもらうことを目的とする。
また、所得税法の重要論点について、学説、判例を紹介し、理解を深めてもらう。

「講義の内容」

テキストに従って、毎回一つの論点について理解を深めていく。できる限り、所得税法の各条文の趣旨、解釈及び各条文に関する学説、判例にふれていく。

「授業の内容」

- 1 所得の概念
- 2 課税単位
- 3 所得税額算出手順の概観
- 4 利子所得と配当所得
- 5 譲渡所得
- 6 給与所得と退職所得
- 7 事業所得等
- 8 所得の帰属年度
- 9 収入金額と必要経費
- 10 所得の人的帰属
- 11 所得計算上の損失の扱い
- 12 所得控除
- 13 税額表の適用と税額計算の特則

2. 評価方法

出席及び授業への参加姿勢、貢献度等を総合的に勘案して評価する。

《テキスト》

佐藤英明「スタンダード所得税法補正3版」 (2014年・弘文堂)

《参考書》

金子宏「租税法第20版」 (2015年・弘文堂)

金子宏他「ケースブック租税法」 (2013年・弘文堂)

岡村忠生他「ベーシック税法第7版」 (2013年・有斐閣)